

重点プロジェクト

各種団体が一体となって推進していくためのシンボル事業として、次の3つを重点プロジェクトとして設定します。



1 都市公園スポーツ交流拠点プロジェクト

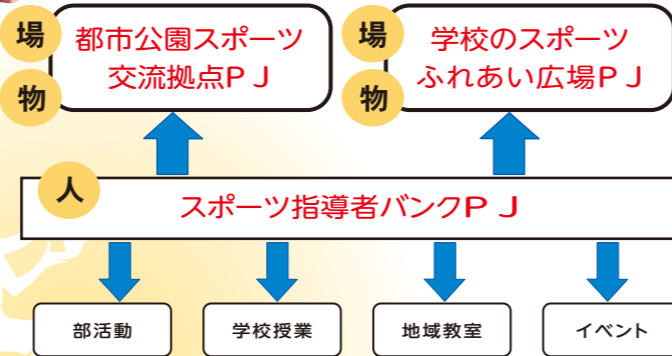
市民が日常的にウォーキングや体操等の健康づくりやランニング等の体力づくりに取り組んでいる状態を目指し、イベントの開催や環境を整備していきます。

2 学校のスポーツふれあい広場プロジェクト

身近な小学校の運動場・体育館で親子や友人がボール投げやバドミントン等の体を動かす遊びや運動に取り組んでいる状態を目指し、スポーツ遊具の整備や教室を開催します。

3 スポーツ指導者バンクプロジェクト

スポーツに関する指導者を探している団体と指導者をつなぎ、スポーツ活動が継続的に行われている状態を目指し、指導者バンク制度を確立します。



計画の進行管理及び推進体制

本計画の進行管理に当たっては、「PDCAサイクル」で計画を推進し、事業の継続的な改善を図ります。そのため、スポーツ振興に関わる団体等で構成する「東海市スポーツ推進会議」を設置し、施策の進捗状況や各種団体の事業の実施状況を確認するとともに、改善に向けた話し合いを定期的に行います。



令和4年(2022年)3月策定
東海市、東海市教育委員会(スポーツ課)

東海市スポーツ推進計画【概要版】

スポーツを **しよう!** **観よう!** **支えよう(応援しよう)!**



計画の要旨

■ 計画策定の趣旨

本市のスポーツに関する課題や施策を体系立てて整理し、事業を効果的に進めていくため、本市が初めて策定するスポーツ振興の指針となる計画です。

本市のまちづくりの理念である協働と共創による、市民、行政、各種団体等との連携を「ワンフォーオール、オールフォーワン(一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために)」の精神で、関係者が一丸となって本計画を推進していきます。

■ 計画の位置付け

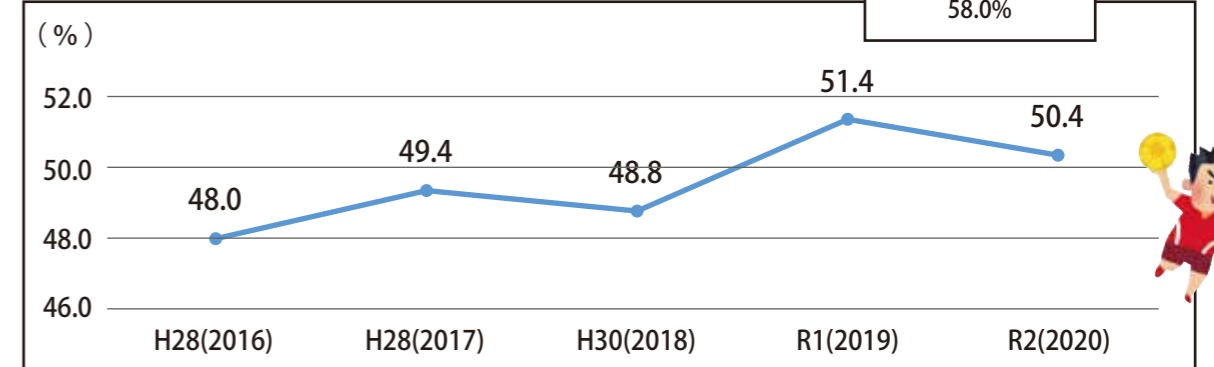
本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき作成する地方スポーツ推進計画です。

■ 計画の期間

令和4年度(2022年度)から令和10年度(2028年度)までの7年間とします。第7次東海市総合計画の中間見直し年次に合わせて第2期計画へ移行していきます。

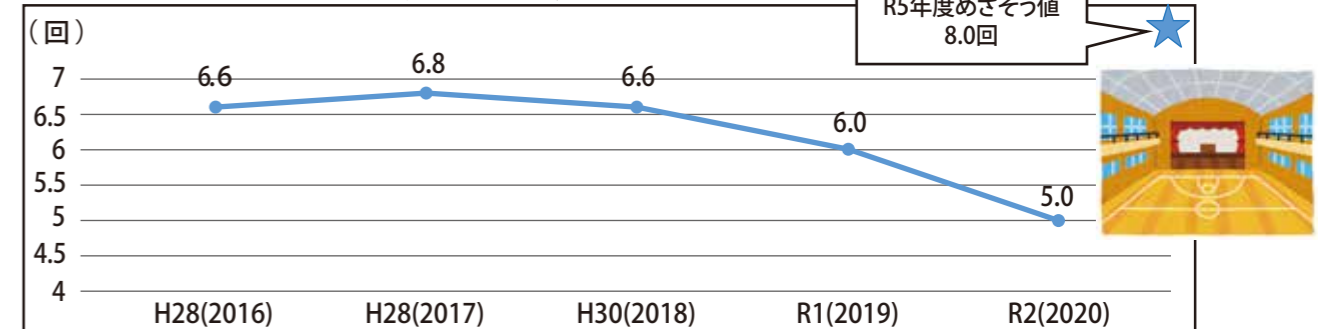
スポーツの現状

● スポーツを実践している人の割合



→過去5年間横ばい状態が続いており、令和5年度(2023年度)めざそう値58.0%にはほど遠く、達成に向けた更なる取組が必要です。

● 市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数



→過去5年間横ばい状態が続いており、令和5年度(2023年度)めざそう値8.0回にはほど遠く、達成に向けた更なる取組が必要です。

施策・成果指標

施策の方向性

単位施策

取組の方向性

主な事業

基本施策Ⅰ
スポーツライフの推進

スポーツを実践している人の割合
51.4%→58.0%

誰もが体力や年齢、障がいの有無等に関わらず、気軽にスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ事業の充実を図るとともに、身近な地域での活動も拡充します。
また、各種スポーツ大会の開催支援やスポーツを支える指導者を増やすなど、市民の生涯にわたるスポーツ活動を推進します。

1 生涯スポーツ活動の充実

- (1) 参加しやすいスポーツ機会の充実
- (2) 子どもたちのスポーツ機会の充実
- (3) 働く世代のスポーツ機会の充実
- (4) スポーツ関係団体との連携

<主な取組>
しよう 体力テスト&ニュースポーツ体験会
しよう・支えよう スポーツ少年団の活動支援
 <今後の取組(案)>
しよう 子ども教室でのスポーツ教室、オンラインスポーツ
支えよう スポーツ推進会議の設置

2 競技スポーツ活動の充実

- (1) 競技活動のできる環境の確保
- (2) スポーツ指導者の育成及び派遣制度の確立

<主な取組>
しよう・支えよう 東海市ジュニアスポーツフェスティバル
 <今後の取組(案)>
支えよう 指導者育成研修会、スポーツ指導者バンク制度

基本施策Ⅱ
アスリート活動の推進

全国大会等出場件数
205件→230件

ふるさと大使である企業スポーツチーム等と連携し、試合観戦やスポーツ教室等の機会を提供し、アスリートの発掘・育成に努めます。
また、全国大会等に出場する選手の激励事業や優秀な成績を収めた選手や団体を表彰するなど、アスリート活動を支援します。

1 アスリートの発掘・育成

- (1) 企業スポーツチーム等との連携
- (2) 目標となる大会等の開催
- (3) 一貫した活動体制の整備

<主な取組>
しよう ジュニア世代スポーツ力育成事業
 <今後の取組(案)>
しよう ふるさと大使等スポーツ連携交流事業
支えよう 一貫した活動体制の整備の検討

2 アスリートの支援

- (1) アスリート活動の支援

<主な取組>
支えよう 全国大会等出場者激励事業
 <今後の取組(案)>
観よう・支えよう ふるさと大使応援等のアスリート応援事業

基本施策Ⅲ
スポーツによる交流の推進

市外からのスポーツイベント参加者数
2,169人→3,300人

ハーフマラソン等の魅力あるスポーツイベントの開催や姉妹都市等とのスポーツ交流を推進し、広域的な交流人口の拡大を目指します。
また、トップチームやアスリートの試合・合宿等を誘致し、スポーツ交流によるまちのにぎわいづくりを推進します。

1 広域的なスポーツ交流活動の充実

- (1) 大規模スポーツイベントの開催
- (2) 姉妹都市等とのスポーツ交流の推進
- (3) トップチーム等の試合や合宿の誘致

<主な取組>
しよう・観よう・支えよう ハーフマラソン開催補助事業
しよう 姉妹都市スポーツ交流事業(国内・国外)
 <今後の取組(案)>
観よう・支えよう 大規模スポーツ大会やイベントの誘致
 国際大会等における選手団の受入れ

基本施策Ⅳ
スポーツに親しむ場の整備

スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合
65.3%→72.0%

利用者が安全に安心してスポーツに親しむことができるよう、施設の長寿命化を図るなど、適切な管理運営に努めます。
また、市民に身近な公園や緑道等を活用し、スポーツ交流拠点機能が果たせるように整備を進めるとともに、スポーツ施設の在り方についても検討します。

1 スポーツ施設の整備・運営

- (1) スポーツ施設の在り方の検討
- (2) スポーツ施設の整備
- (3) スポーツ施設の管理運営

<主な取組>
支えよう 長寿命化計画に基づく計画的改修
 指定管理者制度(民間ノウハウ)の活用
 <今後の取組(案)>
支えよう スポーツ施設の在り方検討
 施設運営におけるデジタル化の推進

2 身近なスポーツ環境の整備

- (1) 公園や緑道等の整備・活用
- (2) 学校体育施設の活用
- (3) 大学や企業、民間スポーツ施設との連携

<主な取組>
しよう ウォーキングイベントの開催
 学校体育施設のスポーツ開放
 <今後の取組(案)>
支えよう 都市公園へのスポーツ用具の配備
 大学や企業スポーツ施設等の地域開放の検討